

◎第5回 豊丘村リニア対策委員会 を 平成28年11月30日（水） 午後7時～ 保健センター2F にて開催しました。

○委員出席者数 32名

○傍聴者数 16名

1. 開 会 畠神総務課長

2. 村長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 事業関係者等あいさつ

○長野県 リニア整備推進事務所 栗林調整課長 ○JR東海 中央新幹線推進本部 澤田部長 ○中部電力 用地部 リニア関連送変電グループ 永井統括部長

5. 協議・報告事項

(1) JR東海より

○リニア中央新幹線事業の進捗状況等の説明

1) 前回に当委員会より情報提供の依頼をした、村内でのボーリング調査等について

2) 伊那山地トンネル（坂島工区）の工事に伴う工事用車両の運行計画について

3) 柏原に計画している豊丘変電所の造成計画について

4) 今後のスケジュール等について

○質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答（JR東海）
<p>①伊那山地トンネル（坂島工区）の工事に伴う工事用車両の運行計画について</p> <p>ア. 工事用車両の台数が100台/日という事だが、この100台という数字は往復で200回通ると言う事になるのか、また今後台数が増えて来ることは無いのか。</p> <p>イ. 今回の対策委員会前に事前に、区の委員と地区の役員を中心とした説明があったが、安全施設の説明以前にこの道路をルートとして、工事用車両が通過する事自体をとて心配している。</p> <p>又JR東海の変電所の造成に関する説明はあったが、運搬ルートの説明は特になく、更には中部電力の変電所関連の工事車両についても、増えて来るのではないかと思うが説明願いたい。</p> <p>今回説明のあった箇所先の線になる県道については、まだ説明がないがきちんと説明していただきたいと考えている。</p> <p>ウ. 工事の通行ルートについては、自分は2年位前からJR東海とはいろいろな話をしているが、今日初めて聞いた。いつものことながら、寸前になって言うてくる。地元にはもっと早く説明をするべきである。</p> <p>エ. 工事用車両の運行ルートについて、道路横断等心配されるところがある。減速指示の看板等を設置するなどの対策を、十分にお願したい。</p> <p>又運行時間についても、他の公共事業と比べて長いように思える。この時期だと既に暗くなってくるので、新たに街路灯の設置などをしていただき、子供たちが事故に巻き込まれないような対策を、しっかりとお願したい。</p> <p>オ. 工事用の道路になる林道大島蛇川線については、ご存じのとりの狭い一本道である。現在改良計画については作成中とのことだが、この場所については豊丘村内でも一番の観光地となっているので、わかる範囲で結構な形で改良計画等を教えていただきたい。</p> <p>カ. 工事用車両の通行については、現時点で日最大100台とのことだが、これから戸中工区の工事が発注となれば、当然として増えて来るのではないか。</p>	<p>⇒この数字は、今回の坂島工区に関する工事用車両が最大で1日50台往復するというものである。</p> <p>⇒現在の選定ルートについては、村とも相談して示させていただいている。まだ決定ではないが、しっかりと安全対策をしたうえで、このルートでお願いしたいと考えている。</p> <p>地区で色々と要望も出ているので、少しでもクリア出来るように検討して、又説明していきたい。</p> <p>県道については一部通る事になるが、幅員が今の状態のままでも、大きな改良をしなくても通行できるのではないかと考えている。</p> <p>変電所の工事についても、これから施工業者を決定する中で、村、地元とよく相談しながらしっかりとご説明していきたいと考えている。</p> <p>⇒工事用車両の運行ルートについて、委員会では今日が初めての説明となるが、対象地区では事前に説明させていただいている。</p> <p>⇒ドライバーにもしっかりと危険箇所が分かるようにと、田村区の説明会でも意見をいただいているので、検討していきたいと考えている。</p> <p>道路の安全対策の他にも、工事用車両の運転者への対応も重要と考えている。又運行時間について通学時間帯は基本的に運行を制限するような形で実施していきたいと考えている。</p> <p>⇒現在の林道大島蛇川線は、普通車が一台通るのがやっとの狭い道である。改良計画のため、現在、現地での測量、地質調査を行っている。道路全線を2車線化するのは不可能な場所であり、場所によって山側を削ったり谷側へ擁壁を設けたりして、待避所を設けて大型車両が行き違い出来るようにしたい。計画案がまとまりしだい地元へ説明していきたいと考えている。</p> <p>⇒工事用車両の台数について、工事箇所が2箇所になれば、単純計算では倍になる。ただ施工会社によって車両の台数は変わるものであり、今後施工会社が決定したらしっかりと計画を立て、しっかりとご説明して出来るだけご迷惑</p>

<p>キ. 安全対策の関係で、水路に蓋をして通行できるようにするとのことだが、どのような構造になるか教えていただきたい。鉄板を敷くような形だと滑ってしまい危険ではないかと思われる。</p> <p>ク. 冬場に雪が降ると立てたポールが邪魔になり、除雪が大変になるのではと心配しているが対応をどうするか。又変電所について道路の付替えを行うとのことだが、現在の道路は日当たりが良く雪は直ぐに溶けてしまうものが、北側に付け替えるとなると冬季は雪が残ってしまう事が心配される。除雪については地元が行うのか、それともJRで常駐し対応してもらえるのか。</p> <p>ケ. 本日初めて工事用車両の運行ルートについて示されたが、このルートについては確定ではないにしろ、もうこのルートでと決めているのか。かなりの台数の工事用車両が、長い期間通行する事になると思うが、何かあった場合についてはルートの変更等を考えているのか。</p> <p>コ. JR東海としては、今回示されたルートを使用したいとの事であるが、田村区での説明会で、工事用車両について一方通行で対応して欲しいとの要望を上げてあるが、今回前回の説明のままで有るので、検討したがダメとの事であるのか。</p> <p>サ. このルートについては、まだ決定した訳ではないとは思いますが、その点についてはどう思うか。</p>	<p>がかからない様に対応をさせていただきたいと考えている。</p> <p>⇒表面については、鉄だとどうしても滑りやすく危険なため、基本的にはコンクリートでの対応を考えている。詳細についてはまだ決まっていないので、村ともご相談しながら検討していきたい。</p> <p>⇒冬の除雪対策について、本日はまだ回答を持ち合わせていないので、これから道路管理者である村ともしっかりと協議して、対応していきたい。</p> <p>⇒運行ルートについては決定ではないが、JR東海としてはこのルートで安全対策を実施した上で、使用させていただきたいと考えている。発生土の運搬に使用するダンプについては作業ヤード等に駐車し、街中には出てこないようにするので、通行するのは主に生コン車等の資機材運搬車両になる。</p> <p>⇒本日の説明会については、前回田村区で説明させていただいた時と、同じ内容で説明させていただいている。田村区でのご意見と本日のご意見を踏まえて、又検討させていただきたいと考えている。</p> <p>⇒引き続き村や地元の皆様とご相談し、検討していかなければならないと思っている。しっかりと検討させていただき、又ご説明させていただきたい。</p>
<p>②柏原に計画している豊丘変電所の造成計画について</p> <p>ア. 変電所の工事について、当初は切土での施工との説明があったと思うが、盛土部分の土について、何処からか持って来るかの計画はあるのか。</p> <p>イ. どのくらいの土量の盛土となるのか。</p> <p>ウ. 柏原の変電所計画については、調整池を作って場知沢川へ流すとの事だが、本日初めてその話を聞いた。問題となるのは、ゲリラ豪雨などによる下流域（壬生沢川）への流出が心配されるので、しっかりとした説明を下流域へもお願いしたい。</p> <p>エ. 一番の心配はどうしても下流域への影響だと思われるので、しっかりと説明をしていただきたいと思う。</p> <p>オ. 柏原に出来る変電所については、西側に最大で15mという擁壁が作られて、その上に建物が建てられる。この場所については、どのように景観に影響してくるのかとても重要な問題となると思われる。景観に十分に配慮した計画をお願いしたい。</p> <p>カ. 変電所の排水用の水路について、今後の管理については誰が行うのか。</p>	<p>⇒事業説明会で説明させていただいたと思うが、その時は切土、盛土で調整を取り発生土を出来るだけ抑えたいとのことだったと思う。今回実際に計画を立てた段階でこのような形状となり、盛土を行わなければならない形となった。盛土の土を何処から持って来るかについては、発生土置き場が決まらないとはっきりとしたことは言えないが、広域農道を経由しての搬入になると考えている。</p> <p>大柏地区の説明会でも色々のご意見をいただいたので、検討していきたいと考えている。</p> <p>⇒切土部分が2万㎡なので、あと18万㎡を搬入して盛る計画でいる。</p> <p>⇒下流へ一気に水が流れないようにするために、調整池で一時的に水を溜め、少しずつ流すように対応していく。設計の基準として30年確率での対応を考えている。場知沢川の管理については村となるので、しっかりと相談させていただきたい。</p> <p>⇒事業説明会での要望や村との相談を踏まえて、地蔵沢川でなく場知沢川への排水を計画させていただいた。下流域の方々が心配しないような設計をしっかりと行い、説明をさせていただきたい。</p> <p>⇒上側から見たイメージ図を事業説明会でお示ししたが、確かに下側から見ると、巨大な擁壁が出来て、その上に建物が建てられるような形となる。その場所の景観をどのように良くしていくかは、今後検討していきたい。</p> <p>⇒今後とも、JR東海で管理を行っていく事を考えている。</p>
<p>③リニア本線トンネル工事関係について</p> <p>ア. 村内のボーリング調査の結果として、安定した地盤であるとの見解であるが、福島区の直下をトンネルが通過するとのことであるが、場知沢のみ調査を行っており、トンネルの直上については何も行っていないが、調査としてこれで十分なのか。</p> <p>イ. 地層自体が安定していると言う事であるのか。</p> <p>ウ. 地元区としては、「トンネルを掘ったら水が枯れてしまった。」と言うのではなく、十分な対応を確約していただ</p>	<p>⇒調査内容としては、ボーリング調査に加えて物理探査を行っている。その調査結果に想定される地質縦断図や既往の調査結果を照らし合わせて、判断させていただいている。</p> <p>⇒全体として安定した地層であると考えている。一部断層があるが、その場所についてしっかりと事前に調査を行い、止水対策等の対応をしていきたいと考えている。</p> <p>⇒これまでも同様な意見をいただき、JRとしても専門家の意見を聞きながらどんな対策が出来るか検討をしっかりと</p>

<p>きたい。</p> <p>エ. トンネルの掘削計画が来年の夏と予定されているが、まだ発生土置き場も決定していない状態であり、少し急ぎすぎではないかと思う。発生土置き場を決めてからしっかりと説明を行っていただきたい。</p>	<p>と行い丁寧な説明をしていきたい。</p> <p>⇒決してこちらの都合だけに合わせるつもりはない。発生土置き場はもちろん、道路改良についてもしっかりと説明し、準備をしたうえで工事に取り掛かりたいと考えている。</p>
<p>④発生土置き場工事関係について</p> <p>ア. 発生土置き場について、工事終了後には地主に返すと言っているが、水路が地下にも出来ることになるので、予想できないような事が起こりうる可能性もある。土地を返したからと言って、地権者に責任を負わせることには無理があると思うが。</p> <p>イ. 林里については虻川の下流となるが、今現在でも県にお願いして砂の排除を行っている。造成した事によりどれだけの土砂が流れて来るのか、教えていただきたい。但し、どンドンと流れて来るようでは困るが。</p>	<p>⇒基本的には土地を地権者へ返す事を前提としている。既設の水路、道路があるところはその管理者にお願いしていくが、既存の施設が無い場合については、その後の管理も含めて地権者の方と相談して対応していきたいと考えている。</p> <p>⇒トンネル工事については、土砂が流れないような設備を作り、土砂が河川に流れ込まないような対策を行う。一部道路改良工事等で流れ込む可能性もあるが、それはわずかな量と考えられる。</p>
<p>⑤その他について</p> <p>ア. 林区内の特に佐原地区については、JR東海、中部電力ともに事業が集中している。中部電力については順調に進んでいるが、JR東海については事業が頓挫してしまっている感じのところもある。全体に言えることだが、JR東海は一度説明を実施してから、その後何にも言ってこなくなる。説明して了解を得るには、とても時間のかかることである。急に色々言われても対応できないこともあるので、しっかりとした対応をお願いしたい。</p> <p>イ. 情報提供について、回答していただきありがたく思う。又内容をしっかりと検討させていただきたい。先程来、いきなり何にも知らない情報が次々と出て来るとの話が出ているが、事前に村等とは協議しているとは思いますが、地区と協議をするといういろいろな言われるので、出来るだけやらない様にしていないかと勘ぐられてしまう。丁寧な説明をするということはしっかりと協議をすると言う事だと思う。又結論ありきの説明の仕方にも問題を感じている。</p> <p>ウ. JR東海で公開した伊那山地における水収支解析について、虻川の解析結果にて水量が13%減るとの公表があったが、水量が13%も減ってしまってはと皆とても不安に思っていると思われる。何とか水を虻川へ戻していただきたいと思うが。</p> <p>エ. 委員会の開催について、本日の委員会では内容が多すぎて十分な質問が出来なかった。一カ月に1回とか定期的に開催していただく事を要望したい。</p>	<p>⇒説明させていただいた後に、間が空いてしまっているようなところもある。戸中の発生土置き場は、地権者に夏前に説明させていただいたが、まだ地権者全員への確認がとれていないのが現状である。説明の際に出た意見等を基に、今後の説明の準備を進めているので、出来るだけ早く説明させていただくように、対応させていただきたい。</p> <p>⇒説明については、地区の方々にも丁寧にさせていただきたいと思っている。まだこれで確定したとは思っていない。これからきちんとお話しをする中で計画を固めていきたい。行政あるいは地区の皆様としっかりと話をしてからでないと、工事前に行う工事説明会は開催できないと考えている。スケジュールについてはあくまでも現時点でのJRの考えをお示ししているものであり、今後の話し合いや協議が長引けば変わってくることもあると考えている。</p> <p>⇒13%減というのは、何も対策をしない場合の数字であり、実際はしっかりと対策を講じていく。又工事中は坂島、戸中の非常口からトンネルの掘削工事を行い、そこから出る水を虻川へ放流する。最終的には天竜川への直接放流という形になるが、虻川で水が必要と言う事なら又協議をさせていただきたいと思う。</p> <p>⇒これでようやく本格的に動き出したとの感じである。今まではお示しできるネタがあまりなかったので、今回は間隔がだいぶ空いてしまった。これからは色々なネタが出て来ると思うので、会議内にまとまるようなスパンでの開催をしていきたいと考えている。(豊丘村)</p>

(2) 中部電力より

○リニア中央新幹線への運転用電力供給事業の進捗状況等の説明

- 1) リニア本体への電力供給のために上佐原に建設が予定されている変電所や、柏原に予定されているJR東海の変電所への送電施設等の事業スケジュールについて
- 2) リニア工事用電力供給のための配電線工事施工ルートについて
- 3) 中部電力が自主的に行っている環境調査について

○質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答（中部電力）
<p>ア. 山間部に行くと色々なナンバー（県外）の車両が多く入っている。JR東海関係なのか中部電力関係なのか、それとも不審車両なのか区別がつかない状態であるので、車両等にはっきりとわかるように明示をしていただきたい。</p>	<p>⇒JR東海としてはご意見を踏まえて対応したい。(JR東海)</p> <p>⇒中部電力の車両については、マグネット式の物を明示するようにしているが、再度確認し徹底させる。</p>
<p>イ. 上佐原から柏原への変電所への送電用の鉄塔について、当初は12基との説明だったが11基に減ったのか。</p>	<p>⇒現地調査等により、鉄塔の数を1つ減らすことができた。</p>

<p>ウ. 坂島地区にヘリポート基地を作ると言う事だが、どのような形の物を作るのか。</p> <p>エ. 前回の説明で、鉄塔については景観に配慮させていただくとの説明があったが、どんな配慮をする見通しか。</p> <p>オ. 鉄塔について赤白以外の塗装でも、航空法上問題はないのか。</p> <p>カ. 座光寺の変電所より坂島地区まで、電気を運ぶ工事を行うとのことであるが、住宅街内を通る場所もあるかと思うが、高圧の電気が通ると言う事で心配する面もあるかと思う。電線についての情報を開示していただき、作業等については安全には、十分に注意して実施していただきたい。</p>	<p>⇒ヘリポートの用地としては、4,000㎡から5,000㎡位の土地が必要となる。過去に坂島地区にいた方が、田として利用していた場所を使用する。形については田の形があるので四角にはならないが、現状に併せて使用したいと考えている。</p> <p>⇒景観に対する計画については、具体的な話についてはまだ決まっていない。これから村や地元の皆様と協議する中で進めていきたい。基本的には光沢を抑えた塗装を施したり、色を茶色にするなどの対応を考えている。</p> <p>⇒航空法の規制で60m以上の鉄塔については、赤白で塗装する等の対応が義務づけられているが、近くに高い山がある場合については除外できる規定であるので、航空局と協議して対応していきたいと考えている。なお、南信幹線から分岐する鉄塔は除外されないため、赤白塗装と赤色灯または白色閃光灯の設置になるが、当社としては白色閃光灯で対応したいと考えている。</p> <p>⇒新たな電線についても、村内の配電線と相違はない。電気を多く使う為に電線を太くしたり、電線の本数を3本から6本へ増やす工事を実施している。電圧は6600Vで離隔については最低でも2m以上の確保をお願いしたい。工事について安全には十分に注意していきたいと思うので、ご協力をお願いしたい。</p>
---	--

7. 閉 会

○終了時間 午後9時35分